

ひきこもり支援推進事業について

ひきこもり相談室（愛媛県心と体の健康センター）

国の「ひきこもり支援推進事業」を活用し、原則として18歳以上のひきこもり状態にある本人及び家族に対して、適切な相談等の支援を行うため、**1 相談支援事業、2 支援体制連携強化事業、3 普及啓発・研修事業**を実施。

また、心と体の健康センター業務として位置づけられている**人材育成（研修）、技術援助**についても併せて実施している。

1. ひきこもり支援推進事業開始からの取組み状況

令和7年12月31日現在

事業内容		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
相談支援事業	電話相談	→														
	来所相談	→														
	同行支援	----- (必要時) -----				→ (積極的)										
	家族教室	思春期事業として実施	家族の集い実施	年5回	年4回	年5回実施（H27から1回目を公開講座（コロナウイルス感染症によりR2～3公開中止。R4再開））										
			研修会と同時開催	所内講師	所内講師	外部講師依頼										
	デイケア			1クール（5回）		2クール	1クール（5回）		通年開催（月1回程度）							
						(計9回)		(コロナウイルス感染症により調整)								
	事例検討会	不定期 (必要時)	月1回（必要時）			月1回定例事業化（R6年9月～ハイブリット対応）										
当事者会及び家族会支援	----- 団体の定例会等への参加 -----															
市町、保健所、障害福祉サービス事業所及び医療機関等との連携	----- ネットワーク会議等への参加 -----															
連携強化事業	連絡協議会	年2回（うち1回は研修会と合同開催）											年1回			
	担当者会						保健所・センターの情報共有							保健所・市町・センターの情報共有		
普及啓発・研修事業	担当者講習会・研修会	年2回	年3回	年2回											年1回	
	情報発信	→ ホームページ掲載 リーフレット作成														
技術支援	保健所支援等												保健所単位の担当者会・研修会			
	市町・団体支援等													市町・団体単位の研修会		
事業内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		

2. 令和6年度実績状況

(1) 相談支援事業

① ひきこもりに関する個別相談

	来所実件数	来所延べ件数	電話延べ件数
ひきこもり相談室	58	280	126

② ひきこもり家族教室 5回

○参加家族 実人数(男9 女32 計41 前年42) 延人数(男26 女77 計103 前年124)

日 程	内 容	参加人数
令和6年5月30日	講話及び質疑応答【ハイブリッド形式で実施】 「ひきこもりの基礎理解」 「ご家族に知ってもらいたいひきこもり状態の背景」 講師 ひきこもり相談室 相談員 講師 心と体の健康センター 精神科医師	39
令和6年8月8日	講話及び座談会 「本人とのコミュニケーション・リラクゼーション法」 講師 愛媛県臨床心理士会 心理士	28
令和6年10月10日	家族の体験談及び座談会 「子どものひきこもりの体験から ～親の思いと家族にできること～」 講師 KHJ 愛媛県こまどりの会 白石副会長	29
令和6年12月12日	講話及び座談会 「障害の理解及び障害福祉サービス、制度について」 講師 松山市障がい者北部地域相談支援センター 原口綾美 相談支援専門員	31
令和7年2月13日	講話及び座談会 「ひきこもり支援Q&A」回答：森医幹、渡邊相談員	20

③ ひきこもりデイケア 14回

○参加当事者 実人数(男3人 女6人 計9人) 延人数(男16人 女24人 計40人)

日 程	内 容	参加者数
令和6年4月1日	オリエンテーション・軽運動(ラダーゲッター・モルック)	1
令和6年5月16日	軽運動(モルック)	1
令和6年6月6日	軽運動(ペタンク・ラダーゲッター)	4
令和6年6月20日	軽運動(モルック)	4
令和6年7月18日	創作活動(ボトリウム)	6
令和6年8月1日	創作活動(木工)	2
令和6年9月5日	軽運動(モルック・ペタンク)	3
令和6年9月19日	軽運動(モルック・ラダーゲッター・ペタンク)	3
令和6年10月17日	軽運動(バドミントン・卓球)	2
令和6年11月21日	創作活動(調理・お好み焼き)	3
令和6年12月19日	軽運動(ラダーゲッター・ペタンク)	4
令和7年1月16日	創作活動(7ならべ・ババ抜き)	3
令和7年2月20日	軽運動(ラダーゲッター・ペタンク)	2
令和7年3月13日	創作活動(絵皿)	2

④ 事例検討 (原則月1回程度開催: 6月～1月)

実施回数	参加者数	参加機関・職種
8回	130 (延人数)	参加機関 27 機関： 心と体の健康センター、県保健所、市保健所、地域包括支援センター、 医療関係機関、相談支援関係機関、その他

⑤ 市町、保健所、障害福祉サービス事業所及び医療機関等との連携

事業名	日時・場所	支援先	内 容	出席者数	協力職員
令和6年度 えひめ地域 若者自立支援 ネットワーク 会議	令和6年12月10日 13:30～15:30 えひめ若者サポート ステーション	えひめ若者 サポートス テーション	・各関係機関からの活動報 告及び情報提供 ・意見交換	14	保健師 相談員
令和6年度 関係機関等と の連絡会議	令和6年6月28日 13:30～15:20 愛媛県身体障がい者 福祉センター	えひめ障が い者就業・ 生活支援セ ンター	・えひめ障がい者就業・生活 支援センター業務報告 ・各機関等からの情報提供 及び意見交換	50	保健師 相談員
	令和7年3月7日 13:30～15:30 愛媛県身体障がい者 福祉センター			53	保健師
ひきこもり相 談事業関係機 関連絡会	令和7年1月16日 14:00～14:50 松山市保健所	松山市保健 所	・ひきこもり相談事業の実 施状況について ・関係機関の取り組み状況 について ・その他、意見交換	17	保健師

⑥ 就職氷河期世代に特化した相談支援

事業名	日時・場所	支援先	内 容	出席者数	協力職員
就職氷河期世 代能力開発支 援事業	令和6年10月22日 13:00～16:00 松山市コミュニテ ィセンター	県労政雇用 課	・各関係機関による相談支 援ブースの設置 ・ひきこもり相談窓口一覽 チラシ等の配布	103	保健師 相談員

(2) 支援体制連携強化事業

○愛媛県ひきこもり支援関係機関連絡協議会

構成機関：保健・福祉・就労・教育等ひきこもりに関連する機関 13 か所

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和7年 2月10日 オンライン 開催	ひきこもり支援 に関わる関係機 関・団体 (13機関)	(1) 国の動向と県の取組み ・ひきこもり支援推進事業における国の動向 ・ひきこもり支援推進事業における県の取組み ・市町プラットフォームを活用した支援について (2) ひきこもりの支援体制について【非公開】 (3) その他【非公開】	57

○ひきこもり支援推進事業担当者会

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和6年 5月31日 オンライン 開催	各保健所、市町 県庁担当者	・情報提供1「ひきこもり支援の動向について」 保健福祉部 健康衛生局 健康推進課 精神保健係 ・情報提供2「ひきこもり支援推進事業について」 ひきこもり相談室の活動状況について ひきこもり相談室 相談員 ・研修報告「令和5年度ひきこもり地域支援センター職員 等への人材養成研修」 心と体の健康センター 職員 ・グループ別情報交換 ・その他	49

(3) 普及啓発・研修事業

○相談室リーフレットの配布、研修会等の機会をとらえて周知

○ひきこもりに関する研修会

開催日	対象者	内 容	参加者数
令和6年 11月11日 オンライン 開催	保健、医療、福祉、教 育、就労等のひきこ もり状態にある当事 者を把握する可能性 がある職員等	・講演「地域における不登校・ひきこもりの理解と支援 ～ケースの見立て・訪問のポイント～」 講師 神戸市看護大学 看護学部 教授 船越 明子 ・質疑応答	129

(4) ひきこもり支援推進に関する技術支援

支援先	開催日	内 容	参加者数	協力職員
西条保健所	令和6年11月6日	【ひきこもり支援者連絡会】 ・ひきこもり支援推進事業 活動報告 西条保健所 健康増進課 精神保健係 ・ひきこもり相談室の活動状況について ひきこもり相談室 相談員 心と体の健康センター 職員 ・意見交換	21	相談員 保健師

支援先	開催日	内 容	参加者数	協力職員
宇和島保健所	令和6年11月8日	【ひきこもりに関する研修会】 ・講演「ひきこもり支援について」 講師 心と体の健康センター 医幹 ・情報提供「ひきこもりの相談窓口について」 宇和島保健所 健康増進課 精神保健係	30	医師 保健師
今治保健所	令和6年12月4日	【今治地域の精神障がい者の地域支援を考える会】 ・話題提供「心と体の健康センター（ひきこもり相談室）の取り組みと事例紹介」 ひきこもり相談室 相談員 ・講演「家族の体験（支援者へのメッセージ）」 KHJ 愛媛県こまどりの会 会長 太田 幸伸	22	相談員 保健師
八幡浜保健所	令和6年12月18日	【ひきこもり支援者研修会】 ・講話「ひきこもりを理解するために」 講師 心と体の健康センター 医幹 ・報告「ひきこもり相談室の実績・事例紹介」 報告者 ひきこもり相談室 相談員 心と体の健康センター 職員	51	相談員 保健師
八幡浜保健所	令和7年1月31日	【ひきこもりに関する連絡会】 ・事例検討会	23	相談員 保健師
愛媛県臨床心理士会	令和7年2月8日	【2024年愛媛県臨床心理士会定例研修会】 ・愛媛県における「ひきこもりの現状と理解」 ・支援の実際 ・愛媛県ひきこもり・不登校支援および就労支援協議会（EASSAS）の活動について ・グループワーク、質疑応答	14	保健師 相談員
西条保健所	令和7年3月7日	【ひきこもり支援従事者研修会】 ・情報提供 ・講義「ひきこもり支援につい～発達障害の理解とかわり方～」 講師 心と体の健康センター 医幹 ・質疑応答	33	医師 保健師

3. 令和7年度 事業計画・進捗状況

(1) 相談支援事業

- 電話・来所相談
- 家族教室
5回（6月～2月）
- ひきこもりデイケア
（1）室内活動：5回（7月～3月）
（2）体育館活動：9回（4月～3月）
- 事例検討会 月1回程度実施中（6月～1月）

(2) 支援体制連携強化事業

- ひきこもり支援関係機関連絡協議会

期日：令和8年1月26日（月）Zoomによるオンライン会議

(3) 普及啓発・研修会開催

- 普及啓発活動

市町ひきこもり窓口のリンク先をホームページで掲示

また、当センターで作成した窓口案内用チラシ、普及啓発グッズを研修会や就職氷河期世代向けイベント等で配布し普及啓発を行っている。

- ひきこもりに関する研修会

期日：令和7年11月10日（月）Zoomによるオンライン研修

対象：ひきこもり支援に関わる支援者等（保健・医療・福祉・教育・就労）

内容：講演「8050世代のひきこもり支援 ～実践のポイント～」

講師 神戸市看護大学 船越明子教授

参加者：85名

- ひきこもり支援推進事業担当者会・研修会

期日：令和7年7月10日（木）

対象：市町の窓口担当課と保健所の担当者及びその他のひきこもり支援者

内容：講演「ひきこもり支援ハンドブックの活用ポイントと支援の実際」

講師 高知県立精神保健福祉センター（高知県ひきこもり地域支援センター）

所長 山崎正雄（ひきこもり支援ハンドブック検討委員）

グループワーク

参加者：45名

- 技術援助

保健所、市町、団体からの依頼に対応

令和7年12月31日現在

開催日	支援先	内 容	参加者数	協力職員
令和7年 6月11日	松山市地域包括支援センター小野・久米	【OKネット ひきこもり支援者研修会】 ・講話「ひきこもりの概念、対応の仕方、事例紹介」 ひきこもり相談室 相談員	50	相談員
令和7年 10月23日	宇和島保健所	【ひきこもり家族のつどい】 ・講話「本人とのコミュニケーション・家族のリラクゼーション」 心と体の健康センター職員 ひきこもり相談室 相談員 ・座談会	13	相談員 心理士
令和7年 12月10日	今治保健所	【今治地域の精神障がい者の地域支援を考える会】 ・講話「支援から自立へ ～ひきこもり支援のプロセス」 心と体の健康センター職員 ひきこもり相談室 相談員 ・事例紹介 ・グループワーク、意見交換	20	相談員 保健師
令和8年 3月6日 (予定)	八幡浜保健所	【ひきこもり支援連絡会】 ・事例検討	—	医 師 保健師 相談員

令和6年度ひきこもり相談室の相談者の状況

1 件数

- ・電話相談（延件数）は、年間 126 件、市町のひきこもり相談窓口の設置により減少傾向
- ・来所相談（延件数）は、年間 280 件、コロナ前は約 450～550 件の間で推移。

2 相談経路・相談者の続柄

- ・相談につながったのは「インターネットから」が 36%。ひきこもり相談室へは、インターネットを利用できる本人や比較的若い親からの相談が多い傾向。

（電話相談 実件数 74 件）

（来所相談 実件数 58 件）

（電話相談 実件数 74 件）

（来所相談 実件数 58 件）

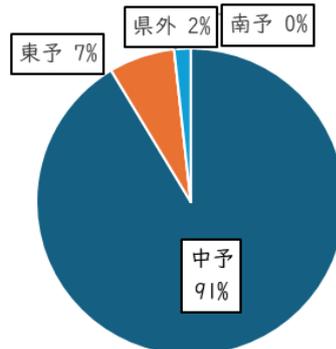
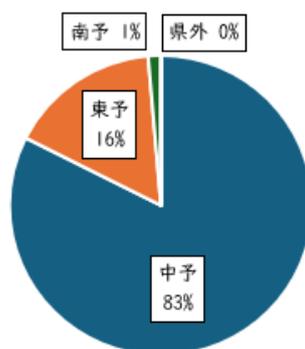
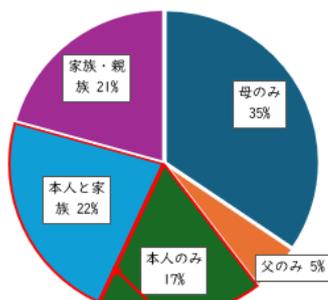
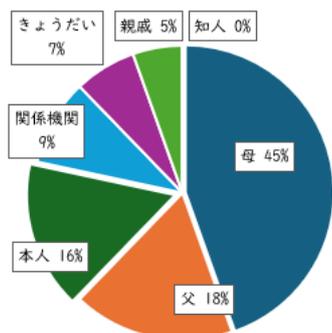


図1 相談者の続柄

家族のみではなく、
本人の来所も39%にのぼる。

図2 本人の住所

3 本人の概要

(1) 来所相談者（実人数 58 件）の内訳について

- ・本人の年齢：20 歳代～30 歳代が合わせて 79%。（図 2）
- ・ひきこもり期間：5 年未満が 41%、一方で 15 年以上も 12%ある。（図 3）
- ・ひきこもり開始年齢：「19 歳～22 歳」が 33%と最も多く、「23 歳～29 歳」が 31%、「16～18 歳」が 16%と続く。（図 4）
- ・不登校の経験：「あり」が 56%。（図 5）

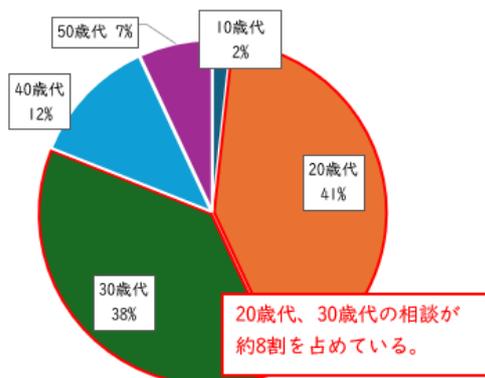


図3 ひきこもり本人の年齢（来所相談 実件数58件）

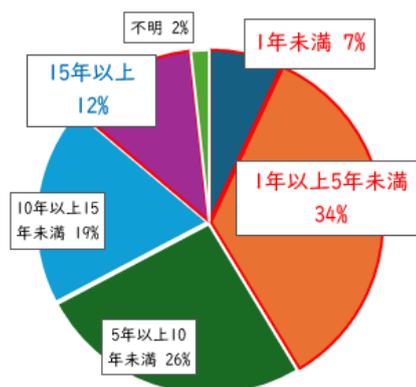


図4 ひきこもり期間（来所相談 実件数58件）

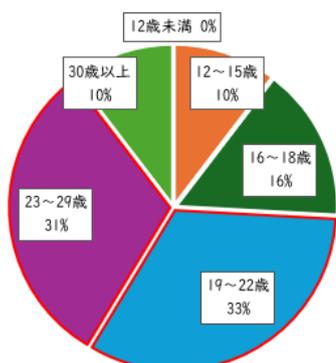


図5 ひきこもり開始年齢（来所相談 実件数58件）

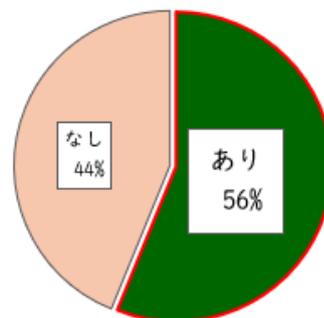


図6 不登校の経験（来所相談 実件数58件）

(2) 来所相談者（新規来所者）の内訳について

新規来所者年代別割合をみると、20歳代、8050世代の相談が増加している。より身近な地域の機関との連携が求められる。（図6）

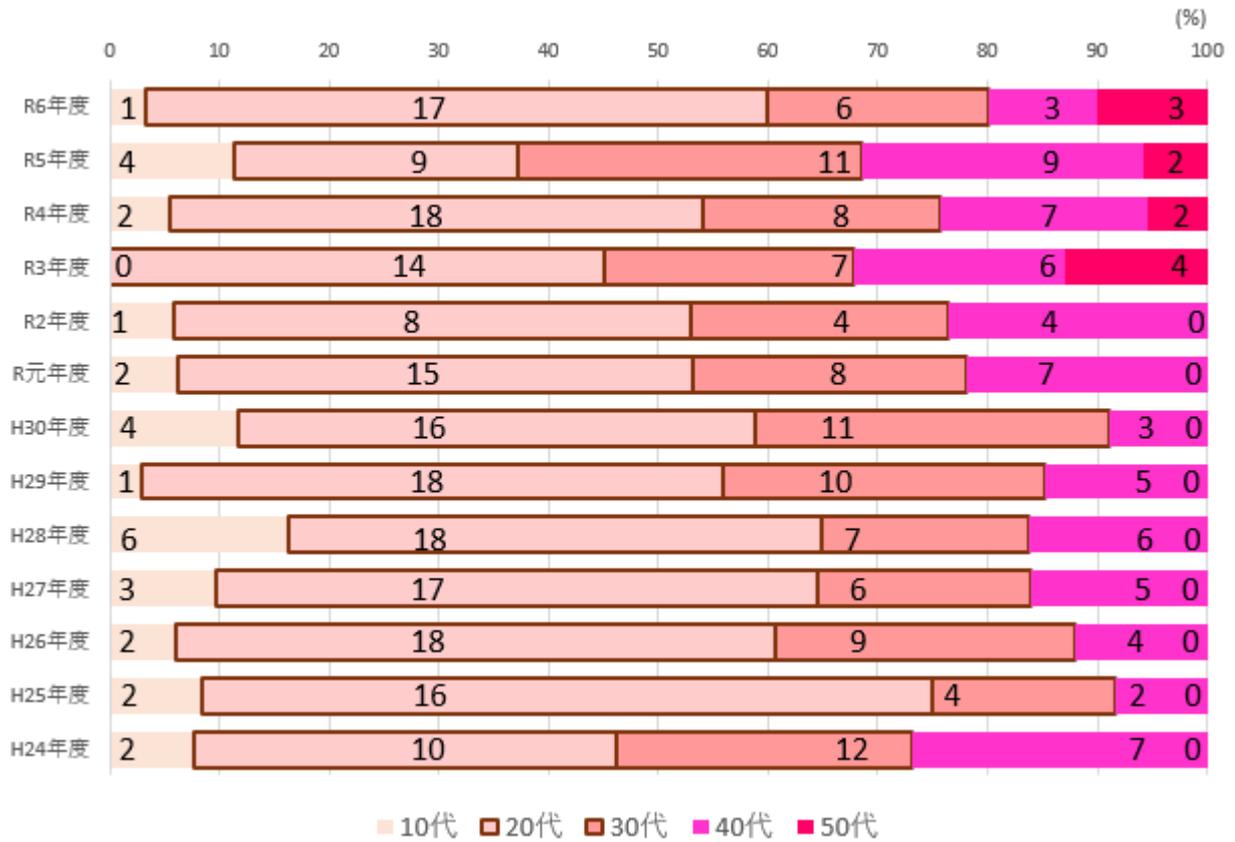


図6 新規来所者年代別割合（H24年度～R6年度）